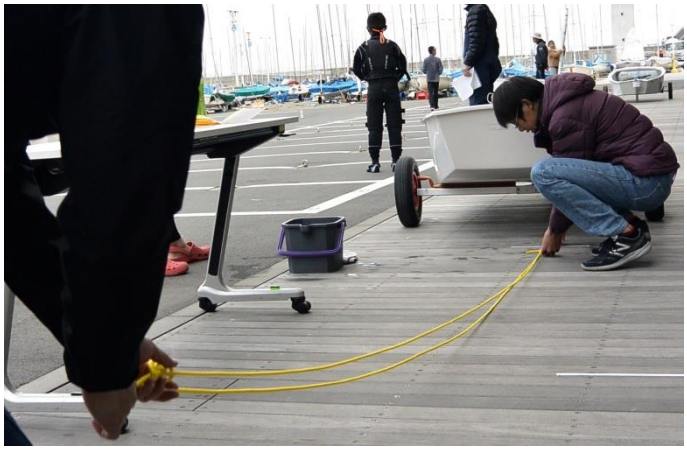
選考会 スタート !!

時は 2017年　日本の上位40選手、運命の分かれ道　今始まる

2017年 JODA ナショナルチーム最終選考会 ／ 神奈川県藤沢市江の島ヨットハーバー　2017年 3月18 日－21日

主催 日本オプティミストディンギー協会
大会運営 江の島ヨットクラブジュニア



Opening Ceremony

DAY 1

スプリット チェック

潮流チェック

スタート アウター RC 艇

Race 1 U旗掲

一分前

JPN
3168
JPN
3130

JPN
3367
JPN
3366
JPN
3343
JPN
3357

JPN
3283
JPN
3335
JPN
3357
JPN
3260

こちら フィニッシュ艇

後続艇も続々とフィニッシュ。

まずは
トップ艇
の
海上
計測

選考会は まだ始まったばかり、
勝負は、これからだぜ。

幸野 翔太

弱風シリーズ

吹かない選考会・・・・

いつも 最も 厳しい戦いとなる

このシリーズ、吹かないことも

厳しさの表れとなる。

軽量で優秀な選手が、

腕を発揮するチャンスだ。

大澤 雄帆

Race 2

オールクリア スタート

左海面に伸ばす グループ

西村 拓真

右海面を
目指すグループ

西澤 佳菜

黒田研一郎

ジュリー チェック

1 マーク回航後 2マークへ

高山 巧太郎

北原 頌子

小菅　楓

Race 2　Finish

海人 1位

頌子　2位

巧太郎 3位

頌子 海上計測を受ける。笛がライフジャケットから外れてしまい安全規定違反で　痛恨の 減点４。

４位を取った 葉山 カトルに 父も満足げ。

Race 3
スタート前

スタート ３分前
このシリーズ、準備
信号は　すべて U旗。

スタート ５分前
恐るべき伏兵、3325 がいた。

R3 スタート 10秒前
増本 晴

鷲尾　青

PROTEST
TORNADO

前田 月里
嶋倉 照晃
2マーク回航

1位　照晃

2位　月里

3位
幸野
翔太

Race 3 フィニッシュ

岡田
爽良
11位

フニッシュの判断が
厳しい時の 保険ビデオ

向井 真太郎
自己ベストの
21位

服部 輝海
26位

金子 道之介　　24位

Day 1　午後から３レース消化してハーバーバック、 お疲れ。

DAY 2

Race 6

3月／19日（日）

APPENDIX P
規則**42**に対する
特別な処置

規則42違反を目撃すれば、
笛を吹き 黄色旗を示し
セールナンバーを呼びかけてペナルティを課すことができる。

P2.1　１回目
『２回転ペナルティー』
→ 行わない場合
その艇は審問なしに失格

P2.２　２回目
その艇はリタイアする。
→ 行わない場合
その艇は審問なしに失格し
その得点は捨てレースにできない。

P2.３　３回目以降は
リタイアして、審問なしに失格し。
その得点は捨てレースにできない。
→ 行わない場合
レガッタの全レースの成績を末梢すると共に 規則**69.2**の審問を考慮する。

ペナルティ 開始

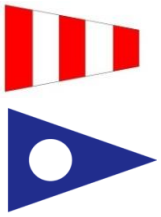
ペナルティ 完了

風が弱い中、選手はなんとか艇を走らせる。
スタートして間もなく、審判は ボディパンピングをしている艇を見つけ、すかさずアクション。
１回目は **P2.1** で済むが ２回目からは恐ろしい。

Race 4

風向：200°
風速：8.8knt

午前中は風が無くて 陸上待機、SIの『陸上で発する信号』に書かれていないAP旗 + 待ち時間を表す数字旗を掲揚、これは D旗 のみでは いつ揚るか判らないので ピリピリしなければならないが２時間はD旗が揚らないと解れば選手達はリラックスして遊んだり、日頃は交流のない遠来者と打ち解ける貴重な時を得る旗です。
やがて 南風が入り 安定してきたので 12:30 D旗が掲揚された。



江の島

横浜

13:15 Start

夢の島

寺岡 志保

青

Race 4
スタートから1マークまで激しい戦いが続く。

頌子

愛海

← 翔太は スピードとコース取りでぶっちぎる。

陸太

青

拓真

翔太は

大差をつけて１マーク回航

続いて ３艇 が 翔太を追う。

照晃

頌子

巧太郎

←翔太

帆斗

涼太郎

小菅 楓

２マークに向かう
3343（10番）3184（11番）
増本　晴
菅野　響
拓真
虎士朗

↑
翔太
↑
２マーク
葉山 カトル

メディア
チーム
バルク
ヘッド
マガジン
アダモ 青野

真太郎

↑
翔太

JPN 3228
JPN 3017
翔太
安永 昴生
志保

輝海
道之介

3マーク

JPN 3260
JPN 3239
JPN 3317
巧太郎
楓
頌子
帆斗

帆斗

WINNER TEAM
JPN 3211
海人

頌子
WINNER TEAM
MISAKI

翔太は 1R 21位、2R 19位、 3R 3位、と尻上がりに調子を上げ、ついに念願の 1位が近づく。

さて、熾烈な２位争いを 制したのは 誰？

Race 4 順位

4位 帆斗、 5位 楓、 6位 頌子

7位 青、 8位 照晃　 9位 涼太郎

10位 駿、11位 月里、12位 虎士朗

Race
5
DAY 2
180°　8.5knt

西澤 佳菜

青山 知央
輝海
月里

14:25 Start !!

豊島 有壮
青

亮太郎
青

響

JPN3149
黒田 研一郎

藤森 佑太朗

桔川 翔太郎

佳菜

カトル

昴生

帆斗

亮太朗

壱心

海人

壱心、海人 が 1 マークに近づくと

スターボ側 から 高速艇が 出現。

あれよと言う
間に 回航。

翔太は選考
会の海面を
わがもの顔に
走り回った。

風振れのため
２マークに C旗が揚る。

２マーク から３マーク へ

壱心

道之助

佑太郎
昴生

壱心
道之助
陸太

楓
月里

輝晃
スプリット
を調整

研一郎
ジャイブ
3マーク回航

森 皇翔
帆斗
爽良
志保

拓真

岡田
爽良

Race 5 順位

1．幸野 翔太
2．磯辺 壱心
3．池田 海人
4．服部 陸太
5．重松 駿
6．金子 道之介
7．前田 月里
8．高山 巧太郎
9．小菅　楓
10. 安永 昂生
11. 黒田 研一郎
12. 葉山 カトル
13. 嶋倉 照晃
→ 捨てRaceとする。
14. 鈴木 亮太朗
15. 藤森 佑太郎
16. 中村 迅之介
17. 河野 大陸
18. 豊島 有壮
19. 宇田川 涼太郎
20. 森 美遥

爽良は プロテストするため RC艇に 抗議の意思を伝える。

さて、もう
1 レース
やるぞ！

森 皇翔

鍛えぬいたスキルは この日のためにあり。

1マーク トップで回航するのは 重松 駿

海人 割り込み成功、続く道之介は 割り込めず、大回りする。 彼らの**フィニッシュ**順位は、駿 1位、海人 2位、愛海 3位、月里 4位、青 5位、 道之介 6位、照晃 7位、亮太朗 8位、頌子 9位、涼太郎 → UFD、 カトル 11位、

東日本大会では４位と 快進撃を続けた輝海 (小6) 、現在暫定 27位、夢の位置まであと一歩、走れ！ 走れ !!

がんばれ　愛海 !! （小６）

スタート → 1マーク → 2マーク → 3マーク → 次は 最後のフィニシュまで 上り帆走。
軽風では 体重により乗る位置が違う。しかし 3人とも マストが ピッタリ 90°で立っている。

海人

月里

駿

駿足 を飛ばしてここまで
来た。　あともう一息だ。

愛海 3位
海人 2位

駿 二度目の 1位、World が近くなる。

R 6 トップ 艇
フィニッシュ
16:40:11

選考会 は前半戦が終了、成績に捨てレース１がカウントされる。暫定トップは 海人 がグロス21点 ネット14点、２位の頌子 56／27点に比べて　役者が上だ。3位 照晃 42／29点、4位 巧太郎 46／29点、5位 駿 59／30点、以上が World圏内。　6位 翔太 56／35点、7位 月里 65／35点、８位 楓 78／37点、９位 道之介 78／37点、10位 亮太朗 69／52点、11位 陸太 77／54点、12位 壱心 80／56点、13位 カトル 92／56点、14位 青 95／64点、15位 虎士朗 95／72点、上位 15選手中の　6名が小学生なのが今年のメインテーマ、福岡全日本も軽風だったので、選考会出場40選手に小学生が15名選ばれたとの因縁もある。